

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年5月26日～6月1日)

2020年6月3日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、ヴァクリチク国家保安委員会(KGB)委員長と会談(6/1)
- 欧州議会、ベラルーシ大統領選挙に関連した弾圧に対し、懸念を表明(5/29)
- グロドノ市で、反体制派プロガー、チハノフスキー氏を逮捕(5/29)

【ルカシェンコ大統領動静】

- ヴァクリチク国家保安委員会(KGB)委員長と会談(6/1)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ベラルーシの土地に風が吹いている。残念ながら、我々が思っていたのとは別の方向からの風である。しかし、我々はいかなる風にも用意がある。突風とも闘うことができるのが、今日のベラルーシの特徴である。
- ・かつては、その風と闘うことができなかつた、だから、主権と独立を持てなかつた。過去、ベラルーシは時に分断され、時にどこかに組み込まれ、第二次世界大戦まで我々は統一されていなかつた。今日、この分断を許してはならない。
- ・国家の安全は、基礎の基礎である。国家の独立と主権を維持する重要な役割は、大統領と共に、国家保安委員会にも帰属する。
- ・大統領選挙の前に、あるいは大統領選挙当日にマイダン革命を起こすという目的は明らかである。ベラルーシにおけるマイダン革命を起こそうとする者に、ベラルーシでマイダン革命は起きないことを警告する。
- ・隣国の新聞が「(ベラルーシに)新しいパシニャン(アルメニア首相)が現れた」、「(ベラルーシに)新しいゼレンスキー(ウクライナ大統領)が現れた」、「(ベラルーシの現状は)アルメニアやウクライナに似ているようだ」と時折書いているが、他国と比較する必要はない。状況が様々に変化していることを知るべきである。我々には、パシニャンも、ゼレンスキーもいない。アルメニアやウクライナでどんなことが起ころうと、そこには優秀なパシニャン、ゼレンスキーがいた。私は、彼らと既に知己である。彼らは、愛国主義者であり、

国家に忠実である。

- ・反体制派は、大統領や政府が作り上げたものだけではなく、国民が作り上げたものを安値で売りさばこうとしている。これを許してはならない。もう一度、マイダンを起こそうとする者に言うが、我々の国で情勢を不安定化させる動きを断じて許さない。
- ・誰も自分の意見を述べることを邪魔することはないが、法律の枠を遵守する必要がある。全て、法律通りに、公平に、誠実に、嘘偽りなく行われるべきである。
- ・私は、国家保安委員会の視点からみたベラルーシの状況を知りたい。ベラルーシでマイダンを起こそうとしているということだけではない。我々には、経済、食糧、軍事的安全、その他分野の問題もある。それらは段々と先鋭化している。非常に辛い政治的な時期である。
- ・今、いくつかのパンデミックがある。保健分野のパンデミックは、幸いなことに、少しずつ克服していつている。しかし、選挙と関連した政治的なパンデミック、そして経済的なパンデミックがある。その他にも色々なパンデミックがある。我々はそれらパンデミックに打ち勝つ必要がある。

(6/1 大統領府公式ホームページ)

●ミンスク・トラクター工場を視察(5/29)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・豊かな西欧では、既に多くの失業者がいる。人々は鍋を叩いている。幸いなことに我々はこれを免れた。製造を止めなかつた。ただ製造すればいいわけではなく、品質が重要である。質の高い製造をすれば、売上はついてくる。
- ・ベラルーシにおける新型コロナウイルスの感染状況

について、平常に戻りつつある病院もある。ヴィテブスク州では、新型コロナウイルス患者を受け入れていた3つ病院を清掃した。これは、我々がパンデミックから抜け出しつつあることを物語っている。

- ・企業に対する国家支援は、具体的かつ利益のある案件や契約に限定しておこなう可能性がある。誰も金をまき散らすことはない。
- ・重要なのは企業が活動を継続し、従業員に賃金を配り続けることである。

(5/29 大統領府公式ホームページ)

●シェイマン大統領官房長と会談(5/28)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・大統領官房傘下の企業・団体も新型コロナウイルス感染の影響を受けたであろう。現時点で大統領官房傘下には約110団体あり、数千もの人が勤務している。そのため、どのような状況にあるか、ネガティブな傾向はあるか関心を持っている。
- ・人々を失ってはならない。具体的な状況を考慮し、世界経済が回復するまで人々を支援する必要がある。
- ・経済回復如何は、我々によるところではない。数ヶ月で、隣国、ロシア、その他の国で経済が動き始め、人々は移動をし始める。この数ヶ月の間、労働力を維持する必要がある。

シェイマン官房長の発言要旨は以下の通り。

- ・大統領官房傘下にある製造業、農業、建設業、輸送業、旅行業では、部品調達の問題、物流の問題により幾つかの指標の低下が見られる。とりわけ、ホテル業界、イベント業界では問題が発生している。

●コヴァチェヴィッチ駐ベラルーシ・セルビア大使と会談(5/28)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・セルビアに帰任されると聞いた。残念であるが、これが仕事であろう。貴国大統領には、貴大使後任には、貴方と同じような方を希望すると伝えて欲しい。
- ・スロバキア大使は5月9日の戦勝パレードに参加した。これは、誇りある行動である。正直に言えば、ス

ロバキア政府の姿勢を理解できない。スロバキア政府は、この行動を批判するだけでなく、懲戒処分を検討している。

- ・スロバキア大使は、愛国的な家族で育った。彼の父はパルチザンとしてナチズムと闘った。そんな彼にたいし、どうして批判できるか。戦勝パレードに参加しただけで罰するとは受け入れられない。我々はともにナチズムと闘ったではないか。

- ・我々は駐ベラルーシ各国大使の任命に丁寧に接しており、新任の大使を歓迎している。いかなる大使も、自国の利益を守るであろう。ただし、大使はベラルーシと関係を密にせねばならない。

(5/28 大統領府公式ホームページ)

●国家予算組織における賃金に関する会議に出席(5/26)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・新型コロナウイルスは、サービス産業を含む多くの分野に影響を与えた。ここでは、国家予算組織のサービス事業において、客数が減少し、従業員への賃金支払いに問題が発生している。
- ・このような状況下でも、外食産業同様に、何らかの形で活動を維持する必要がある。新型コロナウイルスがいつ終わるか、どのような結果をもたらすか、誰も分からない。

- ・一方、客観的な理由によって仕事を見つけることができない人々もいる。これらの人々は支援する必要がある。十把一絡げに支援を実施してはいけない。どのようなカテゴリーの人に、どのような支援をすべきか定義することが大切である。

(5/26 大統領府公式ホームページ)

●消費市場に関する会議に出席(5/26)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・消費市場の動向、とりわけ、価格形成に関して関心をも持つ。特に、新型コロナウイルス感染拡大の背景において必需品や社会的に意義を有する商品について注意を向けたい。
- ・反独占規制・貿易省に対し、不合理に価格を上げて

いる状況を看過してはならないと何度も伝えてきた。我々は状況を把握し、分析し、必要に応じ介入し、是正する。

・市場が自然と価格を調整する、という考えは不要である。我々は長年取り組んでおり、市場は常に全て調整してくれるわけではないことを理解している。

・ロシアは既に燃料の国内輸入、医療保護用品の輸出に制限をかけている。批判しているわけではない。彼らは国民の関心を理解している。

(5/26 統領府公式ホームページ)

外交

●国連、小児病院や児童向け社会施設に対し、総額15000ドルの物資供給支援を実施。

(5/29 ベラパン通信)

●欧州議会、ベラルーシ大統領選挙に関連した弾圧に対し、懸念を表明。

ロバート・ベドロン対ベラルーシ関係欧州議会代表団長、ピャトラス・アウシュトリャヴィシユス対ベラルーシ関係欧州議会報道官は「欧州議会にて、ベラルーシ大統領選挙に関連した弾圧に対する懸念がある。」と共同声明を出した。

共同声明の概要は以下の通り。

・大統領選挙運動は、平和的なデモ参加者や市民社会の活動家に対する弾圧から開始された。例えば、ベラルーシ国内で数十人が、ビデオブロガーであるセルゲイ・チハノフスキー氏の集会に参加した、あるいは、同氏逮捕に反対を表明したために逮捕された。

・欧州議員は、前回の選挙と比較し、選挙管理委員会に認可されている野党派候補者数が大幅に減少しており、選挙管理委員会の構成に対する差別的な手法がなされていることにも懸念している。選挙管理委員会におけるバランスのとれた構成は、真に自由で民主的な選挙の保証である。最後に、我々は、中央選挙管理委員会が技術的な理由で複数の有名な反体制派の候補者の登録を拒否していることに対しても懸念を表明する。

・前回の選挙は、幾多もの悪用と欠陥により水を差さ

れた。今年選挙プロセスは、国際社会の注目が新型コロナウイルスに向けられている通常と異なる環境で実施されるため、ベラルーシ政府に対し、全ての候補者にとって真に平等な条件を作り、選挙管理委員会における不均衡な構成、候補者登録における行政の不正、開票における透明性の欠如を含めた欧州安全保障協力機構の民主制度・人権事務所の勧告を履行することを要請する。

・また、欧州議員はベラルーシ政府に対し新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、選挙管理委員会構成員に対し個人保護用品を確保し、国民の健康のため投票プロセスを安全にし、監視員の職務のための条件を整備するなど、危険のない選挙の実施を求める。

(5/29 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、ラブロフ露外務大臣と電話会談(5/27)

両者は、新型コロナウイルス感染拡大を背景とした両国民の帰国のための相互支援に関し意見交換を行い、今後の二国間の接触予定、地域・国際安全保障分野における協力を確認した。

(5/27 ベラパン通信)

●ルマス首相、ミシュスチン露首相と電話会談(5/27)

両者は、石油・ガス分野における相互協力のパラメータを決定する二国間の合意の履行の重要性を確認した。また、新型コロナウイルス感染拡大対策、EAEU政府間定例会議のミンスクにおける実施、オストロヴェツ原発の建設、ならびに同原発建設に対する融資利率の変更に関する協議が行われた。

(5/27 ベラパン通信)

●集団安全保障条約加盟国外相テレビ会談(5/26)

新型コロナウイルスの国際的、地域的な安全保障への影響、国連の平和維持活動と集団保障条約の活動の統合の発展、CIS・上海協力機構との協力の展望について議論された。

(5/26 ベラパン通信)

●ベラルーシ・リトアニア、放射能事故についての能動的な通知に関する合意を締結。

(5/26 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、コーヴニー・アイルランド外務大臣と電話会談。

両者は、新型コロナウイルス感染拡大対策に向けた二国間の協力の重要性と二国間の経済協力の拡大を確認した。マケイ外務大臣は、チェルノブイリ原発事故の被災者に向けた支援に謝意を表明した。

(5/20 ベラパン通信)

●中国、ベラルーシへの人道支援として4回目の医療保護用品物資送付を実施。(5/31)

貨物には、保護用品、非接触型体温計、検査キット、酸素濃縮器が含まれ、貨物量は140立米、重量は22トンである。今回の人道支援を支援した主な団体と手配した物資は以下の通り。

・上海協力機構、製薬企業 Fosun Pharma 社:検査キット

・UNICEF:酸素濃縮器

・DaShwei 社(ベラルーシ製品の中国輸入を手掛ける企業):医療用マスク

・重慶市:保護用衣類

・陝西省中国伝統医科大学:漢方医薬品

中国は4月、5月の2ヶ月で4度に亘る人道支援を実施し、その重量は112トンに上る。

(5/31 ベルタ通信)

経済

●ベラルーシ保健省、世銀との新型コロナウイルス感染拡大対策に向けベラルーシに9千万ユーロ融資契約を署名。

(6/1 ベラパン通信)

●EBRD、ベラルーシ BNB 銀行に1千万ベラルーシルーブル(約380万ユーロ)の融資を決定。

(6/1 ベラパン通信)

●2020年1月～4月ミンスク市貿易額、去年同期対比、27%減少。

(6/1 ベラパン通信)

●2020年1月～4月のベラルーシ貿易高、去年同期対比20%減少。

(5/29 ベラパン通信)

●ベラルーシ国家債務、2020年期初より12%増加、500億ベラルーシルーブルを超える。

(5/29 ベラパン通信)

●2020年第一四半期、赤字企業の損失額、去年同期対比、20%拡大。

(5/27 ベラパン通信)

●2020年第一四半期、ベラルーシ・EU間の貿易高、14%減少。

(5/27 ベラパン通信)

●2019年5月～2020年4月の間に個人事業主数が5.5%増加。

(5/27 ベラパン通信)

●2020年第一四半期、サービス分野の輸出額、昨年対比5.2%増加。

(5/27 ベラパン通信)

●2020年4月、ベラルーシ年金金額、3月対比0.6%減少。

(5/26 ベラパン通信)

●世銀、ベラルーシの2020年インフレ率が8%を超えると予測。

(5/26 ベラパン通信)

●2020年4月ベラルーシ公務員平均給与、3月対比3.9%増加。

(5/26 ベラパン通信)

●2020年4月ミンスク市国内平均給与, 3月対比4.5%減少。

(5/26 ベラパン通信)

●2020年4月ベラルーシ国内平均給与, 3月対比1.6%減少。

(5/26 ベラパン通信)

内政

●グロドノ市で, 反体制派ブロガー, チハノフスキー氏を逮捕

チハノフスキー氏は, 妻であるスベトラーナ氏が大統領選挙に候補者として参加するための署名集めの場で逮捕された。

(5/29 ベラパン通信)

●オストロヴェツ原発における新型コロナウイルス陽性患者数は18名, 自己隔離措置を取る作業員は81名。

(5/26 ベラパン通信)

(了)